

双眼鏡型VR情報システム

「屋外施設や展示物に情報がオーバーラップ表示」

株式会社アドホック

1. 新製品・新事業の概要



情報表示イメージ



利用イメージ



完成
予想図



内部
イメージ

カメラ、CPU、LCD、GPS等々、多くの部品がコンパクトに収納されます。高い機能性の実現とともに、小型化、軽量化も大きな開発要素として取り組んでいます。

知るべき情報は時と場所を選びません。移動する人々にとっては、今いる場所、これから行こうとする場所の情報はとても重要です。「双眼鏡型VR情報システム」は、現実と仮想が渾然一体となった情報空間を創るバーチャル情報システムです。建物に依存せず、自然の中を情報表示・情報展示スペースとして利用することができます。

【セールスポイント】

屋外で使用できるバーチャル情報システムとして初の実用化。

場所を選ばず、街中や自然の中でも利用できる。

ビジュアル情報、音声情報も登録できる。

データの変更・更新が容易にできる。

用途に応じて柔軟な対応が可能。

2. 新製品・新事業を用いたビジネス提案

東京大学廣瀬研究室を中心として研究されてきた「領域型展示ビジュアルシステム」の技術を実用化するものです。平成16年初旬にはプロトタイプが完成します。

【ビジネス提案】

「双眼鏡型VR情報システム」は、屋外を散策してバーチャルに展示を楽しむ設備として広い利用が期待されます。

- 地域をそのまま展示対象と見立てた町並み歴史博物館。
- 窯跡や古墳、遺跡発掘現場を中心とした屋外展示施設。
- 豊かな自然を散策するウォークラリーやネイチャーゲーム。
- オブジェの展示を中心とした屋外美術館。
- 河川や池・湖を利用した自然博物館。
- 植物園や屋外観察園。
- 砂漠や地層の野外博物館。
- リゾート地、キャンプ地、観光地。

3. 活用した提案公募型技術開発事業

制度名： 地域新生コンソーシアム研究開発事業
プロジェクト名： アバタの自律的行動による複合現実領域での情報表示システム開発
実施年度： 平成15年度～平成16年度

【実施の背景・事業の目的】

複合現実として現される領域(空間)やそこにあるモノに、アバタが周囲の状況に即して自律的な動きで「情報」を貼り付け、使用者に伝えるシステムの構築を目的としている。建物に依存せず、自然の中に情報展示スペースとして利用し、電子パートナーのアバタと楽しく散策や観察をするしほみを本研究開発で完成させる。

【研究開発の内容・成果】

アバタをパートナーとして自然の中を散策し、現実領域にあらゆる情報を貼り付け、渾然一体の複合現実イメージを作り上げるシステムである。アバタは、一緒に行動することにより現実領域と仮想領域をつなぐパーソナルリアリティーの楽しみを与えるだけでなく、自然界の観察や観光に効率と安全を与える信頼できるパートナーとして大きな役割を果たす。

【成功のポイント等】

東京大学先端技術研究所の「領域型展示ビジュアルシステム」の研究と実証実験成果が本研究開発のシーズである。屋外での位置情報取得をトリガーとする情報表示の技術的成果と実証実験による運用成果を合わせて本研究開発の基礎として利用している。

4. 企業プロフィール

会社名： 株式会社アドホック
所在地： 〒464-0067 愛知県名古屋市千種区池下1-11-21
会社規模： 資本金 50百万円 (平成15年10月現在)
従業員数 28人 (平成15年10月現在)
URL： <http://www.adhoc.co.jp/>

【企業からのメッセージ】

優れた情報の表現手法、それを生み出すコンピュータプログラム技術、映像制作技術、コンピュータグラフィックス制作技術、そして企画力の機能を全て備えた組織です。皆様からのご要望に即したCGや映像、プログラム、システム設備を1台から丁寧に開発・制作させていただきます。

とても楽しい科学館や博物館のコンピュータ情報展示や駆動制御、おっと目を引くテレビのCG映像タイトル、なるほど！よくわかる企業ビデオ、これは綺麗なCD-ROM、良くわかるホームページ、どこかでご覧になったこれらは、ひょっとしたら私達の仕事だったかもしれません。

5. 新製品・新事業の問い合わせ先

担当部署名： 企画制作部
TEL： 052-764-2652
FAX： 052-764-2653
所在地： 〒464-0067 愛知県名古屋市千種区池下1-11-21